

# 平成28年度森林・林業白書が公表

「林業の成長産業化に向けた新たな技術の導入を特集」  
「森林法等の改正、森林認証の分野での相互承認の実現、CLTの新たなロードマップの公表といった新たな取組を紹介」

5月26日に、「平成28年度森林・林業白書」(平成28年度森林及び林業の動向・平成29年度森林及び林業施策)が公表されました。

毎年度の森林・林業白書では、国民の皆さんの理解が深まるよう、図表、事例写真等を活用しつつ、森林・林業の動向の体系的な分析に取り組み、目次としています。その中で、冒頭に「トピックス」を設けて各年度の特徴的で印象的な動きを紹介するとともに、第1章を特集章として、特定のテーマについて詳細な分析を行っています。

今年度の「トピックス」では、平成28年5月に、森林・林業政策の基本となる「森林・林業基本計画」が5年ぶりに変更され、林業の成長産業化、原木の安定供給体制の構築、木材産業の競争力強化と新たな木材需要の創出に向けた取組を推進することになったことを紹介しました。また、同5月には、「森林法等の一部を改正する法律」や「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」が成立したことを紹介しました。さらに、C

LT(直交集成板)の普及に向け、設計法に関する基準の整備が告示されるとともに、需要の一層の拡大を目指して新たなロードマップが公表されたこと、平成28年熊本地震や台風災害により林野関係でも大きな被害が発生し、早期の復旧対策に取り組んでいることについて紹介しました。

今年度の特集章では、テーマを「成長産業化に向けた新たな技術の導入」としました。林業の成長産業化を実現していくためには、主伐・再造林等の林業の生産性を向上させるとともに、これまで国産材の利用が低位であった分野における新たな木材需要の創出を図っていくことが必要です。そして、その基礎となるのが新たな技術の開発や導入となっています。

このため、この特集章では、新たな技術の導入状況やその成果等について、伐採と造林の一貫作業システムや優良品種の開発、高性能林業機械の開発といった「林業の生産性向上のための技術」、森林情報の整備や林業経営への活用といった「情報通信技術」(

## 事例 1

### 複雑な地形に対応したタワーヤーダ等の開発

林野庁は、我が国の複雑な地形に対応した中距離集材の架線系作業システムに活用できるタワーヤーダ、自走式搬器及びオートフックを開発。



**自走式搬器**：小型化された高性能エンジンを搭載。走行速度や木材の吊り上げ能力を改良。



**オートフック**：荷掛けしたロープをリモコン操作により取り外し可能で、作業の迅速化や安全性が向上。



**タワーヤーダ**：4つのドラムを備えることで、複雑な索張りへの対応が可能に。

CT)の活用」、非住宅分野や木質バイオマス等における「木材需要の拡大に向けた技術」、「花粉の発生を抑える技術」の四つに分けて整理するとともに、技術導入のための条件整備について記述しました。

第II章以降は、「森林の整備・保全」、「林業と山村(中山間地域)」、「木材産業と木材利用」、「国有林野の管理経営」、「東日本大震災からの復興」について、平成28年度における動向や課題の分析等を掲載しました。この中で、「森林・林業基本計画」の目標値等の具体的な内容や、森林認証の分野において国際的な森林認証である「PEFC」と「SGEC」との相互承認が実現したこと、全ての締約国が参加する温暖化対策の法的枠組みであるパリ協定が発効したこと等を紹介しました。また、「2015年農林業センサス」を分析し、10年前と比較して、林業経営体の数が57%減少した一方で1林業経営体当たりの素材生産量が87%増加するなど、林家や林業経営体の規模拡大が進んでいる傾向であること等を紹介しました。このほか、木材自給率について、平成27年には5年連続で上昇して33.2%に達したことや、熊本地震における木材住宅の耐震性調査において、接合部の仕様等が明確化された平成12年以降の木造建築物の倒壊率が特に低いこと等も紹介しています。

## 事例2

### 情報通信技術(ICT)等の新たな技術を活用できる人材の育成

国立大学法人鹿児島大学は、素材生産の現場における高度な技術者の養成を目的として、林業事業者の生産管理者を対象とした専門職向け公開講座を開催。

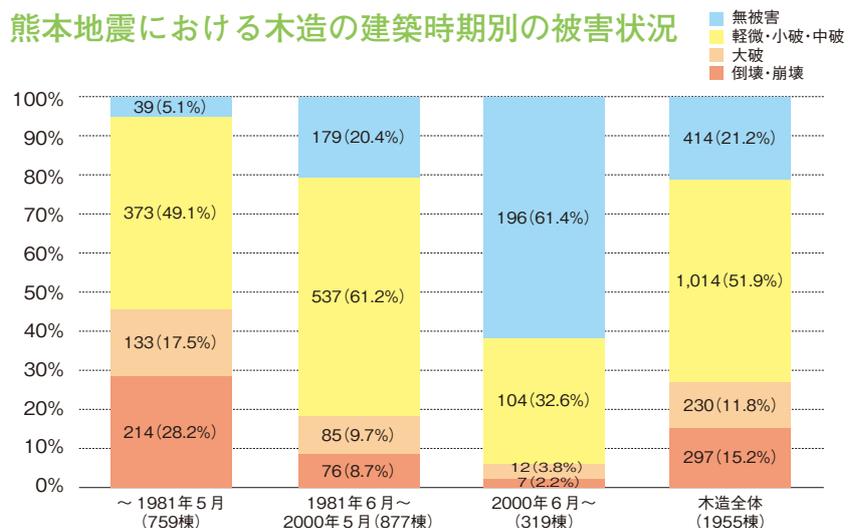
低コストで確実な造林技術や新しい架線系作業システム、航空レーザ計測等の森林資源を把握する技術等の習得について講義や演習を実施。



スギ花粉飛散防止剤の散布により枯死したスギの雄花

森林・林業白書の本文については、林野庁のウェブサイトに掲載しています。詳しくは、以下のリンクを御覧ください。  
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/28hakusyo/index.html>

### 熊本地震における木造の建築時期別の被害状況



(資料:「熊本地震における建築物被害の原因分析を行う委員会報告書」(平成28年9月))